

キャラクター名
鈴木 安寿(スズキ アズブ)

プレイヤー名

シンドローム	ソラリス オルクス		ワークス	UGN支部長D	カヴァー	FHセルリーダー
オプション			年齢	26	性別	女
覚醒	憤怒	衝動	妄想	初期侵食率	31	%
出自	結社の一員	経験	夢	邂逅	居場所	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	26
肉体	0	0	1			1	行動値	6
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	6
精神	2	0	2			4	戦闘移動	11
社会	5	1	0			6	全力移動	22

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正									
白兵			射撃			RC	2		交渉	1	
回避			知覚			意志	1		調達	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:	FH	2
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
快楽の園		0				コンボ1(ダイスデバフ(メイン))
導き						コンボ2(エネミーコントロール(メイン))
精霊						コンボ3(ダイス目変更(オート))
迷える羊						コンボ4(ダイスデバフ(オート))

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
情報収集チーム	
自動巡回ソフト	
使用人	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
生還者(リターナー)	P	N		
大上 明(オカミル)	P 傾倒	N 偏愛		
いじめっ子たち	P 執着	N 不快感		
"遺産" 万紅葉 (ばんこうやく)	P 有為	N 脅威		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 14 残り財産P: 7

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
コンセントレイト:ソラリス	2	2	メジャー	-	-	シンドローム	-	
効果: C値-Lv(7まで)								
抗いがたき言葉	4	2	メジャー	視界	単体	交渉(対決)	-	
効果: 射撃攻撃を行い、命中時そのシーン中対象のあらゆる判定ダイス-LV個。								
トランキリティ	3	3	【精神】	-	-	-	-	
効果: 組み合わせた判定のダイスを+[Lv+1]個。ただし5点HPを消費。								
ナープジャック	1	4d10	メジャー	視界	単体	RC(対決)	120↑	
効果: 対象の〈意思〉と対決を行い、勝利すると対象にメジャーアクションを1回行わせる。								
妖精の手	3	4	オート	視界	単体	自動	-	
効果: 対象が判定ダイスを振った直後に使用。ダイス目一つを10に変更。1回の判定につき1回、1シナリオLV回。								
妖精の輪	1	4	オート	至近	自身	自動	リミット	
効果: 《妖精の手》を使用しているも追加でもう一回使用可。1回の判定につき1回、1シナリオLV回。								
タブレット	3	2	オート	至近	自身	自動	-	
効果: ソラリスエフェクトを使用する直前に使用。射程を視界に変更。1シーンにLv回。								
盲目の羊	5	3	オート	至近	単体	自動	-	
効果: 対象が判定を行う直前に使用可。判定ダイスを-[Lv+1]個。1ラウンド1回。								
ジャミング	3	3	オート	視界	単体	自動	-	
効果: 対象が判定を行う直前に使用可。判定ダイスを-[Lv]個。1ラウンド1回。								
快楽の香り	1	-	メジャー	至近	効果参照	自動	-	
効果: 快楽物質を散布する								
効果:								
効果:								
効果:								

基本的には不安症でコミュ障。ただ、自分が上であることを確認した瞬間高慢となり、自分の力が通用しない相手にはキレル。以下の経歴からオーヴァード至上主義者となっている。またあるFH組織の長を信仰しており、そのストーカー(自覚無し)である。指摘されてもキレル。要するに、気弱なのによく分からないところでキレルちょっとこわいおねえさん。

ある新興カルト宗教の教祖を親に持って生まれた。それが原因となり、学生時代は周りに邪険にされ、虐げられてきた。親からも世間一般でいような愛情を注がれずに育った。このような生活が続いたある日、彼女は学校の屋上から飛び降り自殺を図った。彼女の体は空中に投げ出され、その役目を終えるかに見えた。しかし脳内を巡る走馬灯の中で彼女は「怒り」を覚えた。このまま終わることに納得など出来ない、このままのうのうとあいつらを生かしてはおけないという憤怒に、レネグイドは呼応するかのようにな彼女に力を与えた。生き残り、力を得た彼女は手始めに虐げてきた者たちを洗脳・拷問し、その精神を破壊した。次に、教団員たちを洗脳し、両親を殺し、解体させ、その肉を食べさせた。力を用いて復讐を行ったため証拠など残るはずもなく、彼女が罪に問われることなどありえなかった。その後は両親の遺した、教団員たちから搾り取った莫大な資産を用いて5年間ほど引きこもっていたが、あるFH組織の長の掲げる「すべての人類がオーヴァードの世界を作る」という理念に感銘を受け、活動を再開した。彼女はこれまでの経験から「劣等種である非オーヴァードは滅びるべきだ」という考えを持っており、同じ考えをもっている人間に出会ったことがなかった。彼女は初めて自分の理解者となってくれる人物を見つけたのだ。しかし他人と関係を持つことへの恐怖がまだ拭えない彼女は暴走を始める。まず手頃なFHセルを丸ごと洗脳し、セルリーダーに成り代わった。